

連続歴史講座の学びをさらに深め、
山中一揆についてより広い視点から考える
山中一揆記念講演を開催します

日時▶ 令和 8 年 11 月 3 日(火・祝) 午後 1 時～午後 4 時頃
場所▶ 湯原ふれあいセンター (岡山県真庭市豊栄 1515)

山中一揆義民顕彰会では、令和 7 年 3 月から「一気に解る！山中一揆」と題した全 8 回の歴史講座を開催してまいりました。おかげさまで、全 8 回の講座には延べ 1,024 名、1 回平均 128 名の皆さんにご聴講いただきました。多くの方々に山中一揆や地域の歴史に関心を持っていただくことができ、私どもにとっても大変ありがたく、また意義深い取り組みとなりました。

連続講座は今年 8 月をもって終了いたしました。連続歴史講座の学びをさらに深め、山中一揆についてより広い視点から考える機会を望む声も多くいただきました。そこでこのたび、山中一揆 300 年の節目に、講師に百姓一揆の研究で知られる一橋大学名誉教授 若尾 政希 先生をお招きして「山中一揆記念講演」を開催することといたしました。さらに講演後には、若尾先生と蒜山郷土博物館の前原 茂雄 館長による対談を開催いたします。お二人には、それぞれの専門的な視点から山中一揆について語っていただき、これまでの歴史講座で学んできたことをさらに深める機会にしたいと考えております。

つきましては、周知にご協力いただくとともに当日も取材いただきますようお願いいたします。

概要▶

- 1.日 時 令和 8 年 11 月 3 日(火・祝) 午後 1 時～4 時頃
2.場 所 湯原ふれあいセンター (岡山県真庭市豊栄 1515)
3.講 師 一橋大学名誉教授 若尾 政希 (わかお まさき) 氏

■演題「百姓一揆を語り、伝えるということ」

■講師プロフィール

一橋大学名誉教授。日本近世史・思想史を専門とし、江戸時代の政治思想や民衆の思想、百姓一揆などを研究。著書に『「太平記読み」の時代—近世政治思想史の構想』『安藤昌益からみえる日本近世』『百姓一揆』(岩波新書)などがある。近世の人々が何を考え、どのように社会を生きたのかを、豊富な歴史資料から読み解いている。2025 年には『書物の時代—読書がひらいた日本近世』を刊行。

- 4.対 談 蒜山郷土博物館 館長 前原 茂雄 氏

- 5.入 場 無料

- 6.定 員 200 人 (先着順)

- 7.申込方法 ①真庭市ホームページ 山中一揆 300 年記念講演 「百姓一揆を語り、伝えるということ」の申込フォーム ※山中一揆記念講演で検索
②県内の図書館や道の駅等にあるチラシの QR コードを読み取り申込フォームへ
③任意の用紙に、氏名、郵便番号、住所、電話番号と、「山中一揆記念講演申込」と記入し真庭市湯原振興局に FAX (FAX0867-62-2097)

- 8.主 催 等 主催 山中一揆義民顕彰会、後援 真庭市・真庭市教育委員会

お問い合わせ先▶

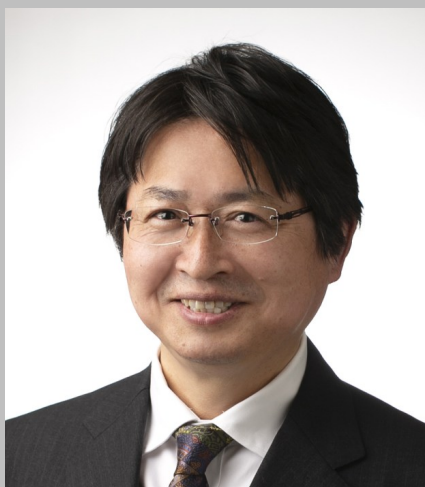
山中一揆義民顕彰会 会長 浜子尊行
(TEL : 090-4653-0521)

発信元▶

湯原振興局地域振興課 (担当 升本)
TEL0867-62-2011 FAX0867-62-2097

『百姓一揆を語り、
伝えるということ』

若尾政希
先生



一橋大学名誉教授

著書
『百姓一揆』『書物の時代』

11/3 (火・祝)

開会 13:00～(記念講演)

対談 15:00～ 終了予定16:00

コメント・対談 **前原茂雄** 先生
蒜山郷土博物館館長

会場 **湯原ふれあいセンター**
岡山県真庭市豊栄1515

入場:無料

申込み(ネット or FAXにて)

定員200名: 申込み(先着順)が
定員を超える場合、お断りすることがあります。



真庭市湯原振興局 (0867)62-2011

山中一揆 記念講演

さんちゅういつき

きねんこうえん



同時開催:湯原文化祭 企画展

山中一揆 展

10/31(土)～11/3(火・祝)

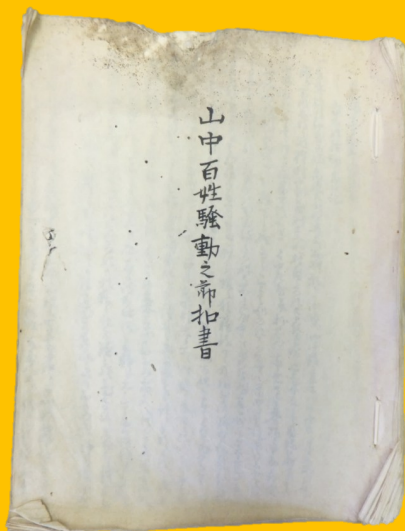
9:00～17:00

山中一揆 300年

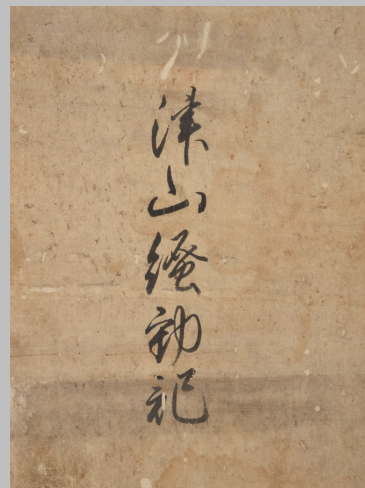
【主催】山中一揆義民顕彰会

【後援】真庭市・真庭市教育委員会

山中一揆百姓騒動之節扣（控）書
（代官三木甚左衛門手記・写）
津山郷土博物館所蔵



津山騒動記
個人蔵



山中一揆史料

	史料名	略称	作成時期	性格	特徴
1	津山騒動記	津山	鎮圧後早い時期	a記録	西触里方居住者、傍観者の立場からの私的記録
2	山中三触百姓騒動為御鎮・御搦捕・御刑罰覚	鎮覚	一揆鎮圧直後 (1727年3月頃)	a記録	一揆に同情的立場をとった福田神社芦立日向家神官の記録
3	山中百姓騒動記	百姓	鎮圧後早い時期	c物語	西触山中北部在住村役人 代官テキストを一部参考に、民間風聞を中心に作成
4	作州津山御領分 在中騒動書	領分	鎮圧後早い時期	a記録	東触村役人層（大庄屋クラス）による私的記録
5	享保十一年在中騒動書	在中	一揆鎮圧直後 (1727年閏1～3月頃)	a記録	津山藩士の私的記録
6	美国四民乱放記	四民	一揆鎮圧直後 (1727年6月)	c物語	筆者神風軒斬竹翁（勝山）自身の主張・思想を織り交えながら、民間風聞による情報をもとに作成
7	作州津山城根元 並作陽乱聴記	乱聴	一揆鎮圧直後	c物語	物語を意識して作成。フィクションを使用した記述はほとんどみられない
8	美作国百姓騒動記	美作	後世に執筆、編纂	B記録文学	「代官テキスト」をほぼ原文のまま引用
9	作州津山御領分 百姓騒動之由来	由来	後世に執筆、編纂	B記録文学	（1）を基本に（3）の一部を参考に作成。一揆伝承を意図して作成し、一番多く広範に伝搬
10	作州津山相道記	相道	後世に執筆、編纂	c物語	代官テキストを参考に、一揆の頭取を美化するためにフィクションを使用して作成
11	美作一覧記	一覧	後世に執筆、編纂	B記録文学	既存史料を取捨選択した歴史的編纂物
12	植月氏旧記	植月			一方触庄屋植月六郎右衛門覚書
13	月堂見聞集	月堂			京町人本島知辰見聞録
14	享保通鑑	通鑑			幕府代官小宮山昌世留書
公的	津山藩日記	日記	同時進行的	a記録	
準公	山中百姓騒動之節扣書	扣書	同時進行的	a記録	代官三木甚左衛門手記

上記は、長光徳和著「備前・備中・美作百姓一揆」を引用し、横山 定著「美作国津山藩一七二六年（享保一一）百姓一揆の史料について」の研究を参考とした。